



平成 28 年 10 月号 (第 245 号)

特集

平成 27 年度に愛知県内で実施した環境調査結果をお知らせします P2~3

今月号は、地盤沈下と交通騒音・振動の調査結果の概要をお知らせします。



その他 環境情報が満載 P3~12



「ミッション in モリコロパーク」を開催します



「アクション油ヶ淵 2016」を開催します
(乗船体験の様子)



「全国・自然歩道を歩こう大会 愛知県大会」を開催します



「自然の魅力発信リーダー養成講座」を開催しました(自然環境学習)

「県庁さわやかエコスタイルキャンペーン」を実施しています (10月31日まで)
軽装・ノーネクタイでの執務について皆様のご理解をお願いいたします



エコアクションを
はじめよう！つづけよう！つなげよう！

<http://aichi-eco.com>



§1 地盤沈下調査結果について

愛知県では、昭和36年から関係機関と協力して、濃尾平野の地盤沈下の状況を観測・調査しています。平成27年の調査結果の概要は次のとおりです。

1 平成27年の地盤沈下の状況

地盤の高さを計測し地盤沈下の状況を調査する水準測量は、県内を尾張・名古屋市、知多、西三河、東三河の4つの地域に分けて行い、平成27年は尾張・名古屋市地域と西三河地域で実施しました。

尾張・名古屋市地域では、1年あたり1cm以上沈下した水準点は3点ありましたが、沈下域（隣接する3点以上で1cm/年以上の沈下が見られた地域）はありませんでした。

昭和40年代に地盤沈下の激しかった尾張・名古屋市地域では、昭和50年代に沈下速度は鈍化し、昭和60年以降は概ね沈静化の傾向を示しています（図）。

なお、西三河地域では1年あたり1cm以上沈下した水準点はなく、地盤沈下は昭和60年以降は概ね沈静化の傾向を示しています。

2 地下水揚水量の状況

地盤沈下の進行と密接な関係のある地下水揚水量は、昭和50年には県内で約2,500千 m^3 /日ありましたが、尾張地域の揚水規制の効果などにより年々減少し、平成16年度以降は1,000千 m^3 /日を下回っています。

3 まとめ

平成27年及び過去の調査結果から、県内の地盤沈下は概ね沈静化の傾向にあります。しかし渇水時には、雨水など地下に浸透する水量の減少や揚水量の増加により、地下水位が急激に低下し、広範囲な地盤沈下の発生する可能性が依然としてあります。

一旦沈下した地盤は元には戻りません。地盤沈下が発生すると、浸水被害等の危険度が高まることから、引き続き地盤沈下調査や地下水位の監視を行うとともに、地下水の揚水規制等を実施し、地盤沈下の防止に努めていきます。

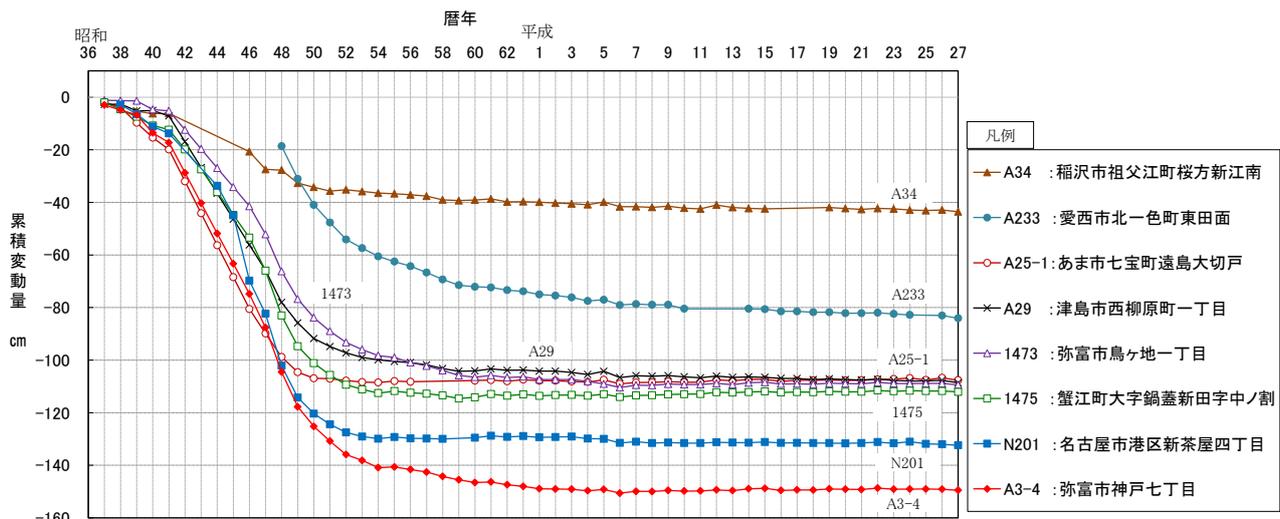


図 主要な水準点の調査開始からの累積変動状況（尾張・名古屋市地域）

本調査の詳細はWebページをご覧ください。

(<http://www.pref.aichi.jp/soshiki/mizu/jibanchinka2015.html>)

水地盤環境課 地盤沈下対策グループ
電話 052-954-6223/6224 (ダイヤルイン)

§2 交通騒音・振動調査結果について

平成27年度に愛知県及び関係市町村が実施した交通騒音・振動の調査結果の概要は次のとおりです。

本県及び関係市町村では、今後も引き続き環境基準達成状況等を監視するとともに、関係機関と連携し、交通騒音・振動対策を推進していきます。

1 自動車騒音の環境基準達成状況(カッコ内は26年度)

評価区間数	全評価戸数	環境基準達成戸数[達成率]
1,020区間	492,458戸	473,663戸[96.2%]
(996区間)	(487,327戸)	(466,535戸[95.7%])

2 自動車騒音の要請限度超過状況(同上)

調査地点数	要請限度超過地点数[超過割合]
132地点	6地点[4.5%]
(137地点)	(8地点[5.8%])

3 道路交通振動の要請限度超過状況

調査地点64地点全てで下回りました。

(平成26年度は65地点全てで下回りました。)

4 新幹線鉄道騒音の環境基準達成状況(同左)

調査地点数	環境基準達成地点数[達成率]
77地点	54地点[70.1%]
(76地点)	(49地点[64.5%])

5 新幹線鉄道振動の指針値達成状況

調査地点29地点全てで達成しました。

(平成26年度は30地点全てで達成)

6 航空機騒音の環境基準達成状況

【県営名古屋空港】

調査地点16地点のうち7地点で達成しました。

(平成26年度は15地点のうち7地点で達成)

【中部国際空港】

調査地点5地点全てで達成しました。(26年度と同じ)

本調査の詳細はWebページをご覧ください。

(<http://www.pref.aichi.jp/soshiki/taiki/27souon-shindou.html>)

〔 大気環境課 調整・生活環境グループ
電話 052-954-6214 (ダイヤルイン) 〕

「エコモビリティライフ 県民の集い2016」参加者募集

愛知県では、クルマ(自家用車)と公共交通、自転車、徒歩などをかきこく使い分けるライフスタイル「エコモビリティライフ」(エコモビ)を推進しています。地球にも人にもやさしい「エコモビ」の魅力や取組についてご紹介するとともに、実践をよびかける「県民の集い」を開催します。皆様のご参加をお待ちしております。

1 日時 11月14日(月) 13:30~15:30

2 場所 ウィルあいち 大会議室(名古屋市東区)

3 内容

(1) 平成28年度「エコモビ推進表彰」表彰式、表彰団体による取組発表

(2) ロハスピープルのための快適生活マガジン月刊「ソトコト」の編集長 指出 一正^{さしで かずまさ}さんによる講演「あたらしい『地方』を発信する、ソーシャル&エコの視点~自分らしく心豊かに暮らすライフスタイルとまちづくり~」

4 参加申込方法

①「県民の集い参加希望」②代表者氏名③住所④連絡先(電話・FAX・Eメール)⑤参加人数⑥このイベントを知ったきっかけの6点を明記の上、はがき、FAX又はWebページより交通対策課までお申し込みください(11月7日(月)必着)。

※定員250名(申込み先着順)。

超過時のみご連絡します。

宛先:〒460-8501(住所記載

不要) FAX:052-961-3248

Webページ:(<http://www.pref.aichi.jp/kotsu/ecomobi/>)



指出 一正さん

知って得するエコモビ実践ガイド
エコモビ 実践 検索

〔 振興部 交通対策課 エコモビリティライフ推進グループ
電話 052-954-6125 (ダイヤルイン) 〕



愛知県では、未来の地域の担い手となる大学生が、グローバルな視点を持って継続的にエコアクションを実施することができるよう、大学生を対象にした「人づくり」プログラム「かがやけ☆あいちサスティナ研究所」を実施しています。

今回は8月～9月に実施した「企業環境活動研究」について紹介します。これは、研究員がチームごとにパートナー企業10社の現場で、企業から提示された課題を解決するために調査・研究を実施したものです。今号は5社を紹介し、次号は残りの5社について紹介します。詳細はWebサイトでも、随時ご覧いただけます(<https://sustaina-ken.net/>)。

1 チーム・アイシン

【研究課題】アイシン精機（自動車部品製造業）の環境取組のPR方法を検討せよ

チーム・アイシンでは、「現地・現物・現認」の考え方をもとに、現場の研究活動を大切にしており、アイシン精機が半田工場のビオトープで地元小学生を対象に実施している環境学習に参加するなど、現場で同社の取組を研究し、解決策を検討しています。



半田工場のビオトープで環境学習に参加

2 チーム・ソニー

【研究課題】稲沢・幸田両サイトが連携し、工場が地域と共生する環境取組を検討せよ

チーム・ソニーでは、両サイトの取組を研究しており、稲沢サイト長からは「地域と連携したもので、全国のサイトでも応用できるような取組を」とメッセージをいただきました。地域のニーズを把握するため、稲沢市役所等にもヒアリングし、地域と一緒に実施する環境取組を検討しています。



稲沢サイト長へのヒアリング

3 チーム・セントレア

【研究課題】この地域で水素社会を実現するために、空港島でできる水素活用のビジョンを策定せよ

チーム・セントレアでは、普段は見ることのできない空港の裏側や滑走路など、空港島の隅々まで見学し、環境取組を学んだうえで、空港島を中心とした水素エネルギーの活用について検討しています。



空港島の水素ステーションを調査

空港島にある水素ステーションでは、その仕組みや課題について詳細に説明を受けました。

4 チーム・東邦ガス

【研究課題】環境に対する意識向上・行動変容につながる新たなイベントを検討せよ

チーム・東邦ガスでは、ガスエネルギー館での環境学習、エコ・クッキングなどを実際に体験し、東邦ガスの環境活動を調査したうえで、新たなイベントの検討を進めています。同社環境部長のヒアリングでは、環境活動に対する熱意に大いに刺激を受けました。



環境部長へのヒアリング

5 チーム・キャッスル

【研究課題】ホテルのお客様が体感できる環境配慮商品・サービスを検討せよ

チーム・キャッスルでは、ホテル館内の客室、レストランなど各施設の担当者の方からヒアリングするとともに、実際に環境取組を現場で学んだうえで、ビジネスや観光など様々な目的でホテルを利用するお客様に対して、どのような環境配慮商品・サービスが望ましいか検討しています。



レストランでのヒアリング

事業者向け「化学物質適正管理セミナー」を開催します

化学物質による環境リスクを減らすためには、化学物質の適正な管理はもとより、住民の方、事業者等の間でコミュニケーションを図ることが不可欠です。今年度も愛知県は名古屋市との共催で、化学物質を取り扱っている事業者の皆さんを対象としたセミナーを開催します。今回は化学物質の基礎知識、関連法令や、リスクコミュニケーションについてご説明しますので、是非ご参加ください。

- 1 日時：10月19日(水) 13:30～16:00
- 2 場所：中区役所ホール（中区役所 地下2階）
（名古屋市中区栄四丁目1番8号）
- 3 定員：480名
- 4 参加費：無料
- 5 講演内容
(1) 愛知県における化学物質の現状と取組について
愛知県環境部環境活動推進課職員

- (2) 化学物質の基礎知識と管理について
環境省事業 化学物質アドバイザー
江原 仁 さん
- (3) リスクコミュニケーションの役割と課題
独立行政法人 製品評価技術基盤機構
化学物質管理センター 調査官
竹田 宜人 さん

6 申込方法

9月15日(木)から申込受付をしています。
申込み先着順です。

Web ページからお申し込みください。

(http://www.pref.aichi.jp/kankyo/cgi-script/prtr/event/event_view.cgi)

〔環境活動推進課 環境リスク対策グループ〕
電話 052-954-6212 (ダイヤルイン)

県民向け「化学物質セミナー」を開催します

化学物質は、私たちの快適な暮らしに欠かせないものですが、使い方を誤ると人や動植物に悪影響を与えてしまうおそれがあります。このため、私たち一人ひとりが身の回りの化学物質の性質を理解し、正しく使用することが大切です。今年度も愛知県は名古屋市との共催で、県民の皆さんを対象としたセミナーを開催しますので、是非ご参加ください。

- 1 日時：10月21日(金) 14:00～16:00
- 2 場所：愛知芸術文化センター 12階
アートスペース A
（名古屋市中区東桜一丁目13番2号）
- 3 定員：150名
- 4 参加費：無料
- 5 講演内容
(1) 化学物質とわたしたちの暮らし
名古屋市環境局地域環境対策課職員

- (2) 身近な化学物質とのつきあい方
名古屋市立大学大学院 医学研究科
特任助教 小栗 朋子 さん

6 申込方法

9月15日(木)から10月14日(金)まで名古屋市環境局にて申込受付をしています。

- ① 電話 052-972-2677
- ② FAX 052-972-4155
- ③ Eメール

a2677@kankyokyoku.city.nagoya.lg.jp

のいずれかの方法により、氏名、電話番号、お住まいの市町村名をお知らせください。

応募者多数の場合は抽選とします。

〔環境活動推進課 環境リスク対策グループ〕
電話 052-954-6212 (ダイヤルイン)

「ミッション in モリコロパーク～公園のヒミツをさがせ!～」 を開催します!

愛知県は、愛・地球博記念公園（モリコロパーク）において、園内各施設と連携・協力してスタンプラリー形式のイベント「ミッション in モリコロパーク～公園のヒミツをさがせ!～」を開催します。このイベントは、大好評をいただいた昨年に引き続き、東邦ガス(株)の協賛を得て開催します。

多くの皆様のご参加をお待ちしております。

1 開催日時

10月16日(日)、23日(日)

11月6日(日)、13日(日)

10:00～15:30

※スタンプは一日で集める必要はなく、複数日で集めていただくこともできます。

2 実施場所

愛・地球博記念公園（モリコロパーク）
（長久手市茨ヶ廻間乙 1533-1）

[ミッション参加施設]

地球市民交流センター

愛知県児童総合センター

大観覧車

あいちサトラボ

リニモ 愛・地球博記念公園駅 計5か所

※リニモでお越しいただくと、愛・地球博記念公園駅からスタートできます!

[ゴール]

モリコロパーク内「^{まなびや}もりの学舎」

※各施設の詳細は、次のモリコロパークのWebサイトや園内で配布しているリーフレットなどを参照してください。

(<http://www.aichi-koen.com/moricoro/>)

3 参加費

無料。ただし、愛知県児童総合センター、大観覧車は別途料金が必要です。

なお、参加者は大観覧車の利用料金が半額となります。

4 参加方法等

ミッション参加施設及びもりの学舎で専用カードを受け取り、各施設でミッション（クイズ、プログラムなど）をクリアしてスタンプを集めます。

いずれの施設からでもスタートできます。

3つ以上のスタンプを集めてゴールの「もりの学舎」へ行くとラストミッションに挑戦できます。

ラストミッションをクリアした方は、素敵なプレゼントが各日先着100名に当たるほか、ネイチャークラフト体験や、別日に開催されるモリコロパーク内のプール・スケート場のバックヤードを巡るツアー、リニモ車両基地見学会の参加申込みができます。

5 雨天時の対応

雨天の場合、一部内容を変更する場合があります。

また、荒天により中止する場合は、当日8:30までに「もりの学舎」Webサイトでお知らせしますので、事前に情報をご確認の上、ご来園ください。

・「もりの学舎」Webサイト

(<http://kankyo-gakushu-plaza.pref.aichi.jp/manabiya/>)

詳細はWebページをご覧ください。

(<http://www.pref.aichi.jp/soshiki/kankyokatsudo/mission.html>)



環境活動推進課 環境学習グループ
電話 052-954-6208 (ダイヤルイン)

10月はクリーン排水推進月間及び浄化槽強調月間です

愛知県では、生活排水対策に関する基本方針により、10月を「クリーン排水推進月間」及び「浄化槽強調月間」と定め、川や海などの汚れの主要な原因である生活排水への関心を高めるとともに、浄化槽の適正な維持管理の重要性等について周知するための取組を、市町村や浄化槽指定検査機関等と連携して実施しています。

1 実践しよう！生活排水対策

生活排水は浄化槽や下水道などで処理されてきれいになります。これらの施設では、微生物の働きによって汚れを分解しますが、その能力には限りがあります。できるだけ水の汚れを減らして、微生物が働きやすい環境を整えておくことが大切です。

私たちの身近には、簡単にできる生活排水対策がたくさんあります。皆さんも、できることから少しずつ始めてみましょう。

身近な生活排水対策



洗う前に汚れを拭き取る。



水切りネットを活用する。



油は直接流さず、古新聞などに吸わせて可燃ゴミに出す。



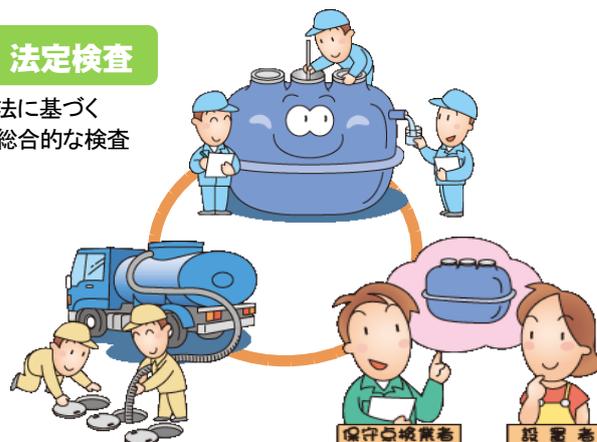
洗剤は適量を使用する。

2 浄化槽の維持管理が大切！

法令により浄化槽管理者（一般住宅の場合、世帯主）は、維持管理を行うことが義務づけられています。浄化槽の機能を十分に働かせるための維持管理には、①法定検査（水質検査等）、②保守点検、③清掃の3つがあり、これらをすべて行う必要があります。

法定検査

法に基づく総合的な検査



清掃

汚泥等の引き抜き・洗浄

保守点検

機器の点検・調整・修理

浄化槽の維持管理

維持管理を適正に行うことで、浄化槽は下水道と同等の高い浄化能力を発揮することができます。維持管理の詳細は、お住まいの市町村または最寄りの県民事務所の環境保全担当課などへお問い合わせください。

3 月間中のキャンペーン等

〈街頭啓発〉浄化槽指定検査機関及び地元市と連携し、浄化槽の維持管理や身近な生活排水対策への関心を高めるため、街頭啓発キャンペーンを行います。

日	時間	場所
10月 5日(水)	9:00~10:00	JR安城駅
	10:00~12:00	ナフコ坂下店
	13:00~15:00	生鮮館やまひこ春日井店
10月 6日(木)	10:00~12:00	名鉄豊田市駅
10月11日(火)	10:00~12:00	アピタ江南西店
10月12日(水)	10:00~12:00	アピタ稲沢店
	13:30~15:30	稲沢パールシティ
10月13日(木)	9:00~10:00	JR豊川駅・名鉄豊川稲荷駅
	10:00~12:00	名鉄一宮駅・JR尾張一宮駅

〈イベント〉 愛知県合併処理浄化槽普及促進協議会と連携して、浄化槽に係る知識・技術の向上を図るため、浄化槽フォーラムを開催し、浄化槽カットモデルの展示や講演会・研修会を実施します。

- 日時 10月31日(日) 10:30~16:00
- 場所 岡崎市図書館交流プラザ(りぶら)

水地盤環境課 調整・生活排水グループ
電話 052-954-6219 (ダイヤルイン)

「アクション油ヶ淵2016」を開催します

碧南市と安城市に広がる油ヶ淵は、県内唯一の天然湖沼です。

愛知県と油ヶ淵周辺の4市(碧南市、安城市、西尾市、高浜市)は、県民の皆さんの油ヶ淵への関心を深め、水質浄化に向けた気運を盛り上げることを目的として、10月29日(土)に、体験型イベント「アクション油ヶ淵2016」を開催します。

参加は無料です。多くの皆さんのご参加をお待ちしています。

1 日時

10月29日(土) 10:00~15:00

2 場所

勤労青少年水上スポーツセンター(碧南市湖西町)

3 主催

油ヶ淵水質浄化促進協議会

(愛知県、碧南市、安城市、西尾市、高浜市)

4 プログラム

- (1) 生きもの講座 ※要事前申込
- (2) 乗船体験・水質に関する講座 ※要事前申込
- (3) 水質浄化に関するブース
- (4) 釣り大会

詳細はWebサイト油ヶ淵電子図書館をご覧ください。

(<https://www.aburagafuchi.jp>)



生きもの講座



乗船体験

〔水地盤環境課 調整・生活排水グループ
電話 052-954-6219 (ダイヤルイン)〕

「全国・自然歩道を歩こう大会 愛知県大会」を開催します

10月は、環境省が主唱する「全国・自然歩道を歩こう月間」です。愛知県ではこの月間に合わせて、愛知県ウォーキング協会と共催で「第35回全国・自然歩道を歩こう大会 愛知県大会」を開催します。

今回のコースは、犬山市内の善師野、不老公園、善光寺山公園、犬山城を巡りながら東海自然歩道の豊かな自然を歩く全長約12kmのコースです。

是非ご参加ください。

1 日時：10月16日(日) 9:00 集合、9:30 出発、14:30 解散予定

2 集合場所：石作公園(犬山市松本町4丁目、名鉄犬山線「犬山駅」より徒歩6分)

3 コース：東海自然歩道ほか犬山市内約12km
(石作公園～善師野駅～大平林道～不老公園～善光寺山公園～犬山城)

4 参加費：無料、申込不要

5 参加資格：制限なし(小学生以下の参加については、保護者の方の付き添いをお願いします。)

6 その他

- ・昼食、飲み物、雨具、健康保険証を持参ください。
- ・駐車場はありませんので、必ず公共交通機関でお越しください。
- ・小雨決行。雨天中止は当日6:30頃に決定。

開催要領及びコースマップ等詳細はWebページをご覧ください。

(<http://www.pref.aichi.jp/soshiki/shizen/arukou-20161016.html>)



昨年度の全国・自然歩道を歩こう大会の様子

〔自然環境課 調整・施設・自然公園グループ
電話 052-954-6227 (ダイヤルイン)〕

「親子自然の魅力発信イベント」の参加者を募集しています

愛知県では、目、耳、鼻、舌、肌の五感を使って自然を体感する「親子自然の魅力発信イベント」を開催しています。今回は、第3、4回の参加者を募集します。講師は、11 ページ上段に掲載した「自然の魅力発信リーダー養成講座」の女性修了生（「里山メッセンジャー」）です。女性ならではの視点を生かした説明により、親子が楽しんで自然の魅力を知っていただくイベントになっています。

【第3回】「みつけよう!!君を感じる海辺の植物」

- 1 日時 10月22日(土) 12:30~15:30
- 2 場所 いらご・さららパーク
(田原市中山町大松上1 伊良湖休暇村公園内)

- 3 定員及び締切 15組30名、10月20日(木)

【第4回】「みつけよう!!君を感じる公園&とよがわの秋景色」

- 1 日時 11月26日(土) 12:30~15:30
- 2 場所 豊橋公園 (豊橋市今橋町)
- 3 定員及び締切 15組30名、11月24日(木)

※いずれも現地集合・解散、昼食は持参

【申込先・問合せ先】

(公社) 東三河地域研究センター
〒440-0888 豊橋市駅前大通二丁目 46
電話:0532-21-6647、FAX:0532-57-3780
Eメール: webmaster@hrrc.jp

参加費は無料です。是非ご参加ください。



第1回「みつけよう!君を感じる里山の自然」
(8月11日 山の日、東三河ふるさと公園)の様子です

※第2回は9月17日に豊橋市野依町のさわらびグループ福祉村で開催しました。

〔東三河総局 環境保全課 環境保全グループ
電話 0532-35-6113 (ダイヤルイン) 〕



「2017 愛知環境賞」へのエントリーを募集しています

愛知県では、平成17年3月から、資源循環や環境負荷低減に関する優れた取組を「愛知環境賞」として表彰しています。

今年度も、表彰の対象となる取組を募集していますので、是非ご応募ください。

1 賞の種類

金賞、銀賞、銅賞、中日新聞社賞、名古屋市長賞、優秀賞

2 募集対象者

企業、団体又はグループ (個人の応募は不可)

3 募集対象事例

省資源、省エネルギー、新エネルギー、3Rなどの資源循環や環境負荷低減に関する先駆的で効果的な <技術・事業> や <活動・教育>

4 募集期間

9月1日(木)~10月31日(月)

5 応募方法

応募用紙に必要事項を記載の上、13部(正本1部、副本12部)を持参又は郵送で提出してください。

なお、全てのデータを格納したCD-R等の電子媒体も併せて1部提出してください(電子メール不可)。

応募用紙のダウンロードはWebページからできます。

6 提出先

愛知県環境部資源循環推進課循環グループ
〒460-8501 名古屋市中区三の丸三丁目1番2号

7 選考結果の公表

平成29年1月下旬予定

詳細は次のWebページをご覧ください。

(<http://aichikankyoushou.jp/>)

〔資源循環推進課 循環グループ
電話 052-954-6233 (ダイヤルイン) 〕

「メッセナゴヤ2016」・「エコプロ2016」の愛知県ブースに 優れた環境技術を有する企業・団体が出展します

愛知県では、循環ビジネスの普及・促進を図るため、大型展示会に愛知県ブースを確保し、優れた環境技術を有する県内企業・団体に広報・宣伝及びビジネス拡大の機会を提供しています。

日本最大級のビジネス展示会「メッセナゴヤ2016」では22社・団体、アジアを代表する環境・エネルギーの総合展示会「エコプロ2016」では9社・団体が愛知県ブースに出展します。

各展示会では、公募のうえ選定した出展者の資源循環・省エネ等の優れた環境技術や3R製品を発信するとともに、愛知県の資源循環の取組も紹介します。

各展示会ともに入場は無料ですが、それぞれ入場登録*が必要です。皆さん是非お越しください。

※ 入場登録 Web サイトから事前登録または当日会場で登録も可能です。

詳細は各 Web サイトをご覧ください。



愛知県ブースのイメージ

【メッセナゴヤ2016】

- 1 会 期 10月26日(水)～10月29日(土)
- 2 開場時間 10:00～17:00
(28日(金)は18:00まで、
29日(土)は16:00まで)
- 3 会 場 ポートメッセなごや
(名古屋市港区金城ふ頭二丁目2番地)

4 愛知県ブースに出展する企業・団体

22社・団体 (50音順)	
愛知県陶器瓦工業組合	(株) 三進製作所
(株) アクテック	(有) サンメンテナンス工機
アムテック (株)	(株) ジェイ・クリエイト
いその (株)	(株) J Pカンファレンス
(株) ウェイストボックス	(一社) 循環資源再生利用ネットワーク
永興物産 (株)	全国防草ブロック工業会
大森木材 (株)	ダイワセラミックス (株)
(株) 神清 ^{かみせい}	(株) テクノ中部
加山興業 (株)	(株) 富田組
(有) 環境テクシス	豊田化学工業 (株)
(株) 環健スーパーテクノ	ユナイテッドオイル (株)

5 Web サイト

<http://www.messenagoya.jp/>

主催：メッセナゴヤ実行委員会

【エコプロ2016】

- 1 会 期 12月8日(木)～10日(土)
- 2 開場時間 10:00～18:00
(最終日は17:00まで)
- 3 会 場 東京ビッグサイト東ホール
(東京都江東区有明三丁目11番1号)

4 愛知県ブースに出展する企業・団体

9社・団体 (50音順)	
おかえりやさいプロジェクト	全国防草ブロック工業会
グリーンフロント研究所 (株)	(株) テクノ中部
(株) 三進製作所	(株) P・C・G テクニカ
シーピーセンター (株)	油圧機工業 (有)
(株) スクラッチバック	

5 Web サイト

<http://eco-pro.com/2016/>

主催：(一社) 産業環境管理協会、日本経済新聞社

〔 資源循環推進課 循環グループ
電話 052-954-6233 (ダイヤルイン) 〕

「自然の魅力発信リーダー養成講座」を開きました

愛知県では、東三河の豊かな自然を生かし、その魅力を広く普及啓発する人材を育成するため、特にfacebook やブログなどで情報発信力の高い18歳以上の原則女性を対象に、「自然の魅力発信リーダー」を養成する講座を開催しました。

午前には豊橋公園内で昆虫や植物に触れる自然環境学習を、午後はパソコンを利用した情報発信学習を(株)戸田工務店に協力をいただき延べ3日行いました。

- 1 開催日時 7月2、9、16日の土曜日
- 2 開催場所 豊橋公園、(株)戸田工務店「職人夢工房 TODA」(豊橋市旭本町)

3日間受講した修了生は、「里山メッセンジャー」と称して、8月から11月まで月1回開催する「親子自然の魅力発信イベント」の講師役を实践し、リーダーとしての素養を身に付け、自立したリーダーを目指します。



午前の自然環境学習



午後の情報発信学習

〔東三河総局 環境保全課 環境保全グループ
電話 0532-35-6113 (ダイヤルイン)〕

留学生インターンシップ事業を実施しました ～ 公益財団法人 愛知水と緑の公社 ～

愛知水と緑の公社では、留学生インターンシップ事業として、今年度も8月24日から9月2日まで、留学生2名を受け入れ、体験実習を実施しました。

1 受入留学生

- ・名古屋経済大学 3年 中国出身
- ・名城大学 3年 中国出身

2 実施内容

環境保全の歴史や施策に関する講義のほか、大気汚染測定局や豊田環境保全センター跡地汚水処理施設の保守管理業務研修を行いました。



犬山大気汚染測定局での業務体験 (8/29)

国や県の機関においては、環境行政への取組の講義を、また中部電力(株)碧南火力発電所、日光川上流浄化センター、(公財)愛知臨海環境整備センターなどの環境先進企業等の視察を行いました。



日光川上流浄化センターの視察 (8/25)

留学生からは、「母国の環境に対する関心が高まるのが必要だと思います」、「自ら環境を守る行動をしていきたい」などの感想がありました。

留学生にとって、この経験が今後の就業や母国での環境への取組に活用されることを期待しています。

〔(公財)愛知水と緑の公社 環境部 管理課
電話 052-913-1321〕



南極観測船ふじ

名古屋港でひと際目立つ、オレンジ色の大きな船。それは南極への長い旅を終えた「南極観測船ふじ」です。この船は1965年(昭和40年)から18年間という長い間、南極観測のための砕氷船として活躍していました。その役目を終えた後、1985年(昭和60年)からは「南極の博物館」としてガーデンふ頭に永久係留されています。

船内は活躍当時の姿で保存されており、現役で活躍(航海)していたのころの姿をマネキンなどで再現し、この船の構造や輸送手段としての役割を理解していただけます。



食堂のマネキン

日本の南極観測は、1957年(昭和32年)から始まり、内陸の気候や、オーロラのメカニズム、ペンギンの生態、氷床の調査、隕石の収集など、現在も続けられています。南極が文明から遠く離れ、人による環境汚染がもっとも少ない地域

日本の南極観測は、1957年(昭和32年)から始まり、内陸の気候や、オーロラのメカニズム、ペンギンの生態、氷床の調査、隕石の収集など、現在も続けられています。南極が文明から遠く離れ、人による環境汚染がもっとも少ない地域

であるため、近年問題が指摘されているオゾン層の破壊や二酸化炭素などの温室効果ガスによる地球温暖化などの情報を正確に集めることができます。そのため、南極は地球の健康度をはかるバロメータといわれています。南極観測事業の生きた教材として、ぜひ「ふじ」を体験してみてください。

隣接している名古屋海洋博物館や名古屋港水族館は共通入場券で一緒に見学できますので、名古屋港で1日過ごすことができます。



名古屋海洋博物館



名古屋港水族館

<南極観測船ふじの施設情報>

開館時間：9:30～17:00

休館日：毎週月曜日 ※祝日の場合は翌日

GW・7月～9月・年末年始・春休みは無休
臨時休館(冬期にメンテナンス休館あり)

入館料：大人300円 小中学生200円

※海洋博物館や水族館との共通券もあります。

詳しくはお問い合わせください。

住所：名古屋市港区港町1-9

電話：052-652-1111 FAX：052-661-8646

Webサイト：<http://pier.nagoyaaqua.jp>

環境活動推進課 環境学習グループ
あいち環境学習プラザ
電話 052-972-9011 (ダイヤルイン)

愛知県環境情報紙「環境かわら版」
平成28年10月3日発行(第245号)
編集・発行 愛知県環境調査センター
企画情報部
〒462-0032 名古屋市北区辻町字流7-6
電話 052-910-5489(ダイヤルイン)

編集後記

暑さもだいぶやわらぎ、日々過ごしやすくなってきました。秋といえば、行楽の秋、スポーツの秋、食欲の秋など活動的なイメージのある季節ですが、季節の変わり目でもあり、心や体に不調をきたす人の多い時期でもあります。

県内には多くの紅葉の名所がありますので、美しい秋の自然に触れ、心身のリフレッシュをしてみてくださいはいかがでしょうか。

(企画・編集チーム)

※ この環境かわら版は、環境部Webページ「あいちの環境」<http://www.pref.aichi.jp/kankyo/>でも発信しており、写真等をカラーでご覧いただけます。この記事は広報紙等へ再掲していただきますようお願いします。